

Pioneer DJ

ターンテーブル

PLX-500-K

PLX-500-W

商品相談・修理受付・付属品購入窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

保証書付き

pioneerdj.com/support/

上記のPioneerDJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

rekordbox.com/

rekordbox™の各種情報やサービスについては、上記のオンラインサポートをご覧ください。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この冊子は必ずお読みください。この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。
- 本書では、製品本体ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。
記載例：
[START/STOP] ボタンを押す

01 安全上のご注意

警告	3
注意	3
設置場所について	4
製品のお手入れについて	4

02 はじめに

本機の特長	5
付属品を確認する	5

03 準備する

rekordbox (Mac/Windows) をインストールする	6
組み立てる	6

04 各部の名前とはたらき

トップパネル	8
本体背面部	9

05 調整する

トーンアームのバランスを調整する	10
針圧を調整する	10
アンチスケーティングを調整する	11
アームリフターの高さを調整する	11
アームの高さを調整する	11

06 接続する

パワースピーカーに接続する	12
プリメインアンプ、コンポに接続する	12
DJ ミキサーへ接続する	13
コンピューターと接続する	13
設置する場所	13
本体の高さを調整する	13

07 操作する

電源の入れかた	14
電源の切りかた	14
演奏する	14
演奏を一時中断する	14
演奏を終える	14
ピッチを調整する	14
レコードジャケットをディスプレイする	14
EP レコードのドーナツ盤を演奏する	14
針先を明るく照らす	15
録音する	15
針を交換する	15
カートリッジを変更する	15

08 その他

故障かな?と思ったら	16
保証とアフターサービス	17
使用上のご注意	17
各部のお手入れ	17
商標および登録商標について	17
仕様	18

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならぬ内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり、指示したりする内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告

異常時の処置



万が一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

放熱をよくするため、他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・あおむけや横倒し、逆さまにする。
- ・押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- ・じゅうたんやふとんの上に置く。
- ・テーブルクロスなどをかける。



着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用製品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用了場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外には使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。



使用環境



本機に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法



本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



注意

設置



本機を設置する場合には、壁から 5 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、本機の背面から 5 cm 以上、側面から 5 cm 以上のすき間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。



本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用方法



ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。飛び散ってけがの原因となることがあります。



音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検



5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

設置場所について

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライトなどの近くで長時間使用すると、本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、雑音や映像の乱れは室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。

本機の使用環境について

本機の使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下(通風孔が妨げられていないこと)です。

風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_A1_Ja

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

愛情点検



長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 - 電源コードにさけめやひび割れがある。 - 電源が入ったり切れたりする。 - 本体から異常な音、熱、臭いがする。
----------------	---



ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。
-------	--

K026*_A1_Ja

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外(たとえば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用)で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

K041_A3_Ja

はじめに

本機の特長

本機はホームリスニングから DJ など、様々な用途で楽しむことができるハイトルクダイレクトドライブ式ターンテーブルです。

高品位なアナログレコードサウンド

針先から **PHONO/LINE** 出力までの経路を最短に設計し、アナログレコードの本来持つ音質を忠実に再現します。
また **PHONO** 出力だけでなく **LINE** 出力に対応していますので、パワードスピーカーと直接接続するだけで高品位なアナログレコードサウンドを手軽に楽しむことができます。

簡単デジタル録音

USB-B 端子を搭載していますので、本機と PC/Mac を直接接続し、アナログレコード音源をデータ化して PC/Mac に録音することが可能です。録音の際は無償の音楽管理アプリケーション「rekordbox」(Ver.4.2.1以降)の録音機能を使うことにより、簡単な操作でデジタル録音することが可能です。

DJ プレイ可能なダイレクトドライブターンテーブル

ハイトルクダイレクトドライブ方式を採用していますので、2 台の本機と DJ ミキサーを組み合わせることで楽曲のミックスやスクラッチなどの DJ プレイが可能です。

レコードジャケットを立てかけられるダストカバー

ダストカバーを開いた状態で、レコードジャケットをダストカバーにディスプレイすることが可能です。これにより、レコードジャケットを鑑賞しながらアナログレコードサウンドをお楽しみ頂けます。

付属品を確認する

- ターンテーブル
- スリップマット
- ダストカバー
- EP レコード用アダプター
- バランスウェイト
- ヘッドシェル (カートリッジ付属)
- シェルウェイト
- 電源コード
- USB ケーブル
- オーディオ変換ケーブル (ステレオピンプラグ (メス) - ステレオミニプラグ (オス))
- 取扱説明書 (本書)



小さな部品は幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。

D41-6-4_A2_Ja

準備する

rekordbox (Mac/Windows) をインストールする

1 rekordbox.com にアクセスする

<https://rekordbox.com/ja/store/>

- ページ内は、予告なく変更される場合があります。

2 スタートガイドご確認後に、[Free To Download] をクリックする



3 ソフトウェア使用許諾契約の内容をよく読み、同意するときは [同意する] にチェックを入れる

チェックを入れると [Download] がクリックできる状態になります。

4 [Download] をクリックする

rekordbox (Mac/Windows) のダウンロードが開始されます。

5 ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍する

6 解凍したファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動する

7 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は画面の指示に従ってインストールを続ける

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、インストールを中止してください。

8 インストール完了画面が表示されたら、画面の指示に従ってインストーラーを終了する

以上でインストールは完了です。

- rekordbox dj, rekordbox dvs および rekordbox video を使用するためにはアクティベート（ライセンスキーによる認証）する必要があります。詳しくは rekordbox の操作説明書を参照してください。

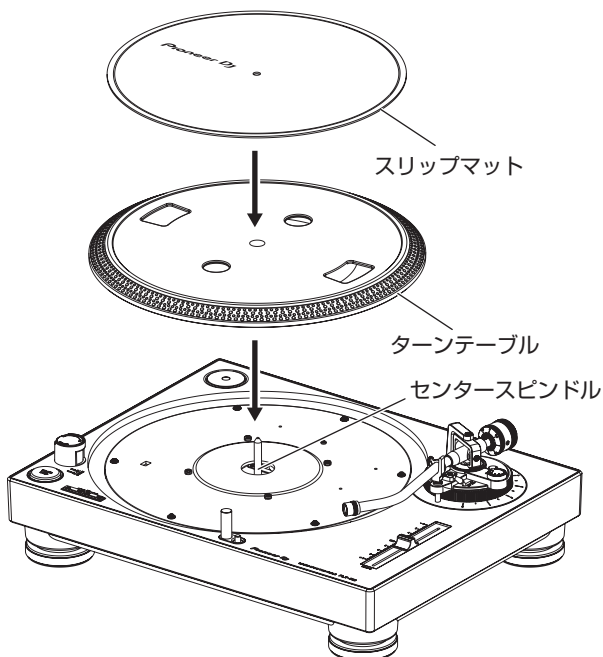
<https://rekordbox.com/ja/support/manual.php>

組み立てる

1 ターンテーブルとスリップマットを取り付ける

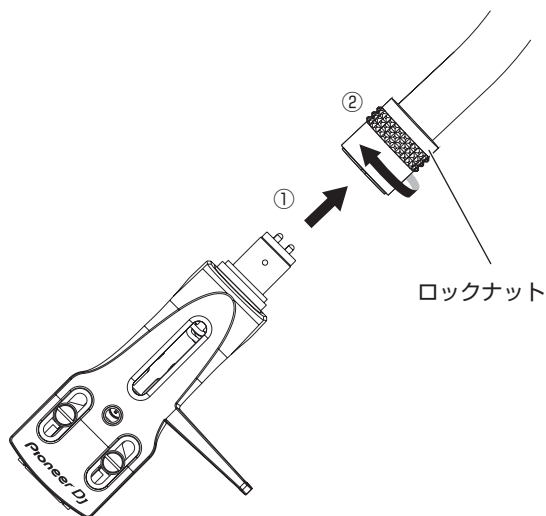
ターンテーブルをセンタースピンドルにはめて、スリップマットをのせてください。

- ターンテーブルは、本体に当てたり落としたりしないでください。

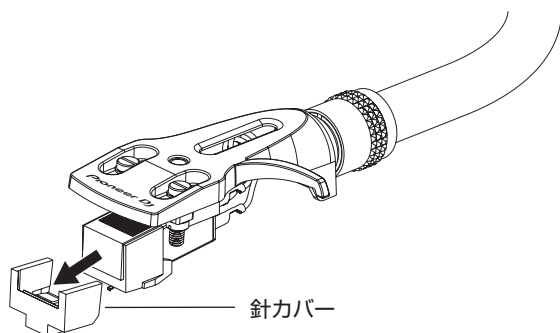


2 ヘッドシェルを取り付ける

カートリッジを取り付けたヘッドシェルをトーンアームに挿入します。次に、ヘッドシェルを水平に保ちながら、ロックナットを締め付けます。

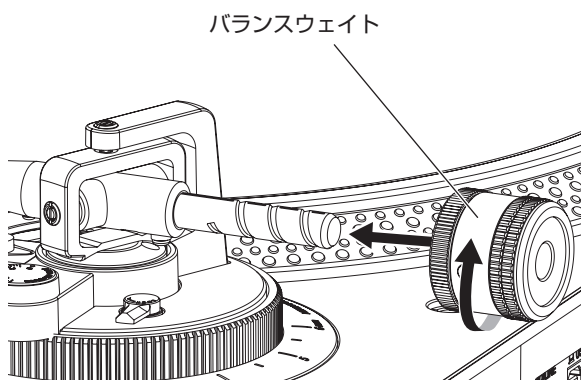


- 使用するときは、針先に触れないよう針カバーを外してください。



3 バランスウェイトを取り付ける

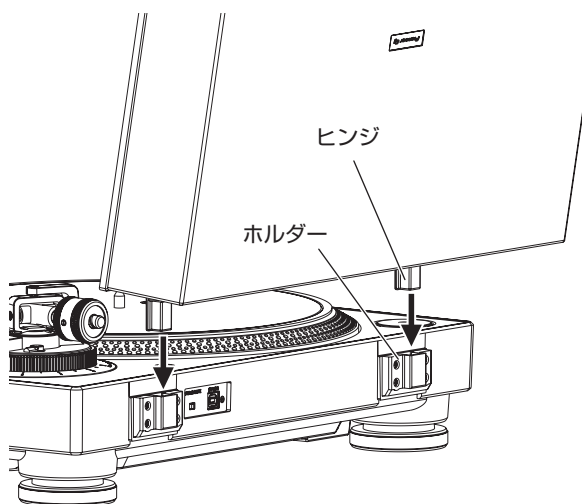
トーンアームの後部軸にバランスウェイトを取り付けてください。



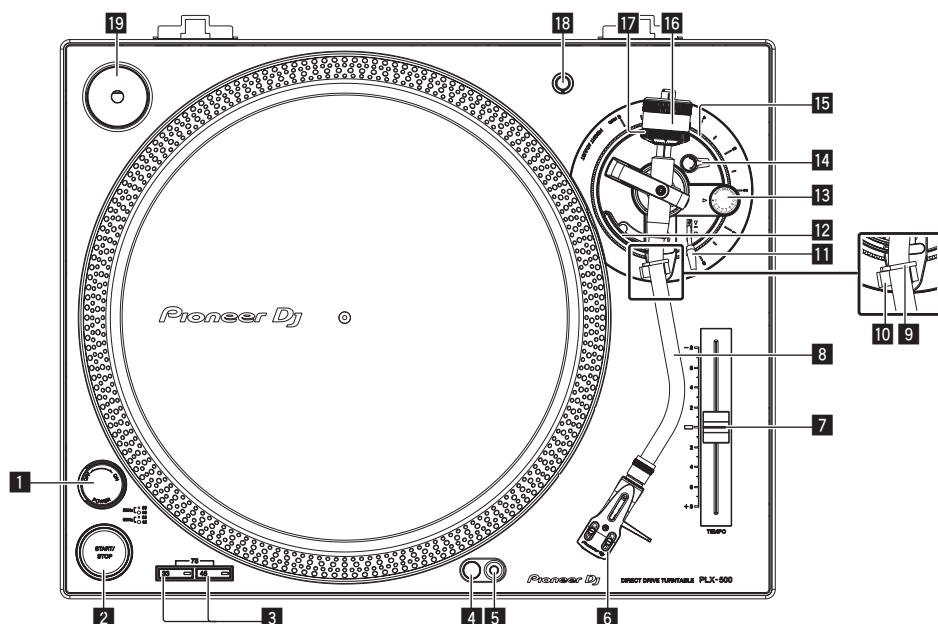
ダストカバーを取り付ける

ダストカバーのヒンジを本体背面部にあるホルダーに差し込む

ダストカバーを取り外すときは、ダストカバーを開いた状態でヒンジを上引き抜いてください。



トツプパネル



- ➡ 「電源の入れかた」(p.14)
- 「電源の切りかた」(p.14)

ボタンを押すと、ターンテーブルが回転したり停止したりします。
 ➡ 「演奏する」(p.14)

演奏するレコード盤に合わせて切り換えます。

- 33 1/3 回転レコード盤は **[33]** ボタンを押してください。
- 45 回転レコード盤は **[45]** ボタンを押してください。
- 78 回転レコード盤は **[33]** ボタンと **[45]** ボタンを同時に押してください。

③ 「演奏する」 (p.14)

針先を照らすように点灯します。
 ③「針先を明るく照らす」(p.15)

② 「針先を明るく照らす」(p.15)

6 ヘッドシエル

前後にスライドさせることにより、回転数が微調整できます。

② 「ピッチを調整する」(p.14)

⇒「調整する」(p.10)

トーンアームを固定するクランパーです。

トーンアームの支持台です。

11 リフターレバー

レバーを上に戻すと、トーンアームが上がります。レバーを下に倒すと、トーンアームが下がります。

12 アームリフター

トーンアームを上げたり下げたりするための装置です。リフターレバーによって操作します。

13 ANTI SKATING ダイヤル

レコード演奏時、針先が内周へ引っ張られる力が発生しますが、このダイヤルを針圧と同じ数値に合わせることで、その力を打ち消します。

➡「アンチスケーティングを調整する」(p.11)

14 HEIGHT ADJUST ロック

調整したアームの高さを固定できます。
 ● 「アームの高さを調整する」(p.11)

15 HEIGHT ADJUST ダイヤル

トーンアームの高さを調整するときに使用します。
 ➡「アームの高さを調整する」(p.111)

16 バランスウェイト

トーンアームのバランスをとったり、針圧を調整するときに使用します。

➡「調整する」(p.10)

17 針圧調整リング

カートリッジの適正針圧に合わせるときに使用します。
 ➡「針圧を調整する」(p.10)

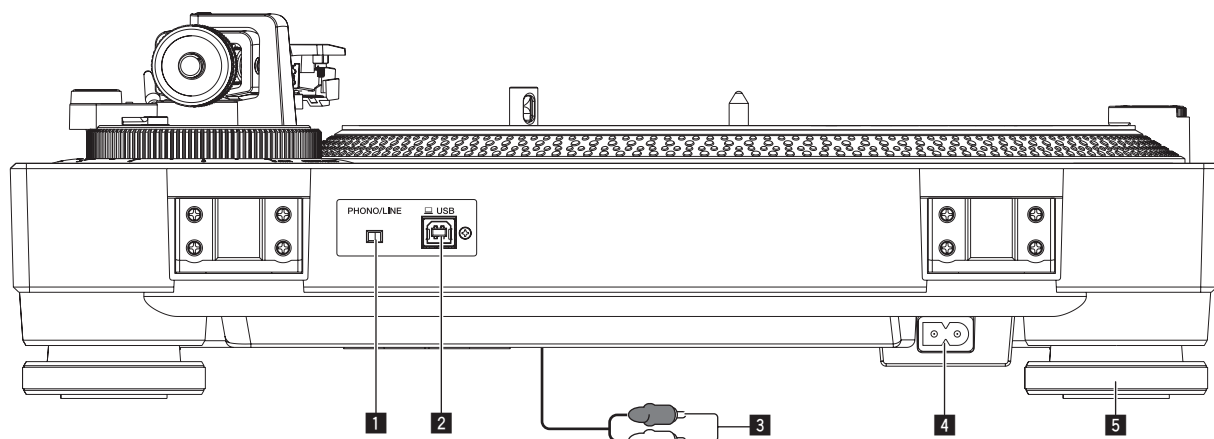
18 ヘッドシェルスタンド

ヘッドシエルを立てるときに使用します。

19 EPレコード用アダプター

EPレコードのドーナツ盤を演奏するときに使用します。

本体背面部



1 PHONO/LINE スイッチ

本機から出力される音声レベルを切り換えます。

- **[PHONO]**：プリメインアンプやコンボなどの、フォノレベルの入力に対応した機器と接続する場合に選択します。
- **[LINE]**：パワードスピーカーなどの、ラインレベルの入力に対応した機器と接続する場合に選択します。



注意

PHONO/LINE スイッチを **[LINE]** にした状態で、フォノレベルの入力に対応した機器と接続しないでください。

2 USB 端子

USB ケーブル（付属）を接続します。

- ➡ 「コンピューターと接続する」(p.13)

3 音声ケーブル

- ➡ 「接続する」(p.12)

4 AC IN

付属の電源コードを使ってコンセントと接続します。電源

コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

- 必ず付属の電源コードをお使いください。



注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

5 インシュレーター

外部からの振動の影響を抑えます。回すとターンテーブルの高さを調整できます。

- ➡ 「本体の高さを調整する」(p.13)

調整する

トーンアームのバランスを調整する

カートリッジやヘッドシェルは製品ごとに質量が違いますので、トーンアームのバランスを調整します。

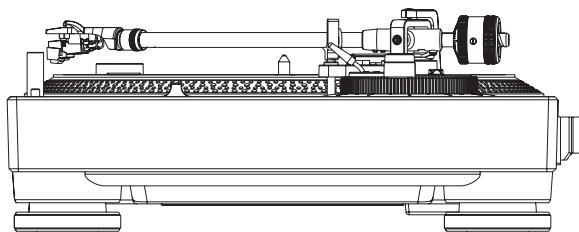
以下の準備をしてください。

- 針先に触れないように針カバーとアームクランパーを外します。
- リフターレバーは下に倒します。
- [ANTI SKATING] ダイアルは“0”にします。

トーンアームをアームレストから離し、水平になるようにバランスを調整する

トーンアームがほぼ水平になるまで、バランスウェイトを回し、調整します。

- トーンアームを移動させるときは、針先が直接ターンテーブルなどに触れないように注意してください。



針圧を調整する

針圧は針飛びや音の歪みを防ぐために、カートリッジごとに決められた適正針圧値に調整します。

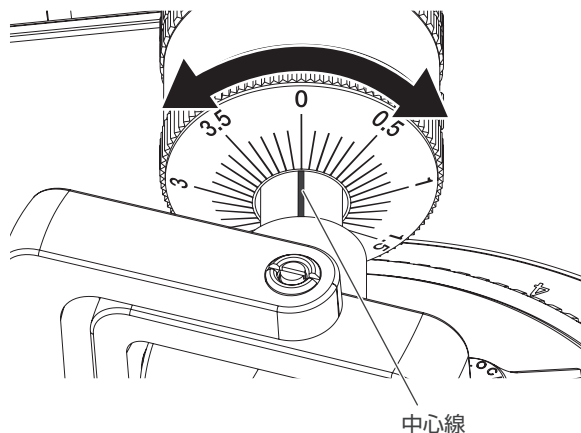
付属カートリッジの適正針圧値は、3.0 g ~ 4.0 g です。

以下の準備をしてください。

- トーンアームをアームレストに戻し、アームクランパーで固定しておきます。

1 針圧調整リングの“0”をアーム後部軸の中心線に合わせる

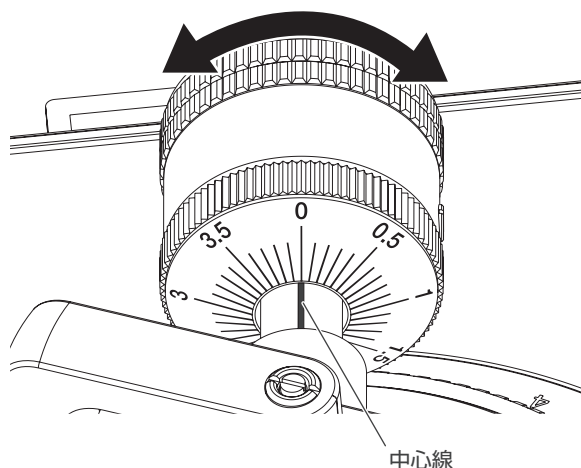
バランスウェイトが動かないように指で支えて針圧調整リングだけを回し、数字“0”をトーンアーム後部軸の黒い中心線に合わせます。



2 針圧を調整する

バランスウェイトを回して、お使いのカートリッジの適正針圧値に合わせます。

- バランスウェイトを回すと針圧調整リングも一緒に回りますので、調整リングを見ながら適正な針圧に調整してください。

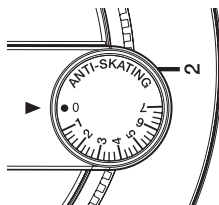


アンチスケーティングを調整する

針飛びを抑えるために調整します。

針圧値と同じ目盛に合わせる

[ANTI SKATING] ダイアルを回し、基準線にカートリッジの針圧と同じ数値を合わせてください。



スクラッチプレイのときは

針飛びを抑えるために、プレイの動作に合わせて目盛を調整してお使いください。

アームリフターの高さを調整する

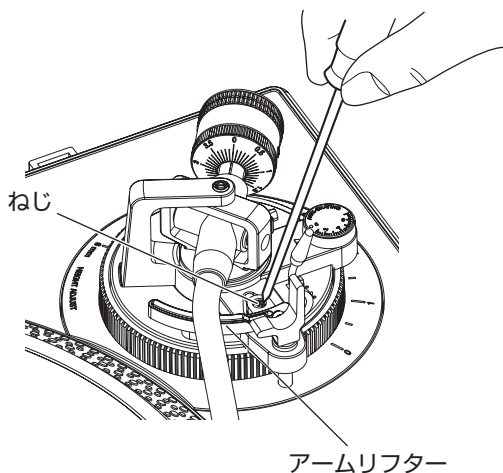
付属品以外のカートリッジを使用する場合は、使用するカートリッジに応じて調整してください。

以下の準備をしてください。

- レコード盤をスリップマットにのせます。
- 針先に触れないように針カバーとアームクランパーを外します。
- リフターレバーを上に戻し、トーンアームをレコード盤上に移します。

アームリフターを押し下げた状態で、ネジを回して調整する

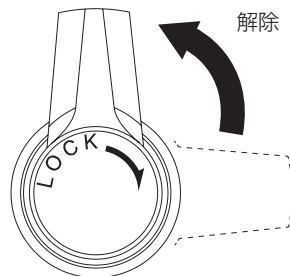
- 時計回りに回すと、レコード盤と針先の間隔が狭くなります。
- 反時計回りに回すと、レコード盤と針先の間隔が広がります。
- アームリフターの高さ（リフターレバーを起こしたときのレコード盤と針先との間隔）は工場出荷時に約 8 mm から 13 mm の範囲で調整しています。



アームの高さを調整する

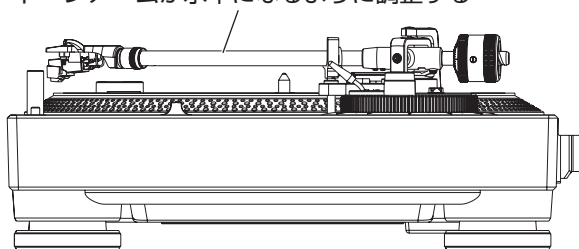
付属のカートリッジを使用する場合は、"0" の位置が最適です。付属品以外のカートリッジを使用する場合は、使用するカートリッジに応じて調整してください。

1 [HEIGHT ADJUST] ロックを回し、ロックを解除する

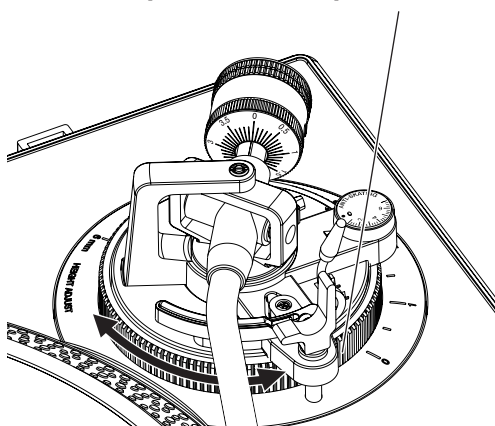


2 リフターレバーを下に倒して針先をレコード盤にのせ、トーンアームとレコード盤が平行になるように [HEIGHT ADJUST] ダイアルを調整する

トーンアームが水平になるように調整する



[HEIGHT ADJUST] ダイアル



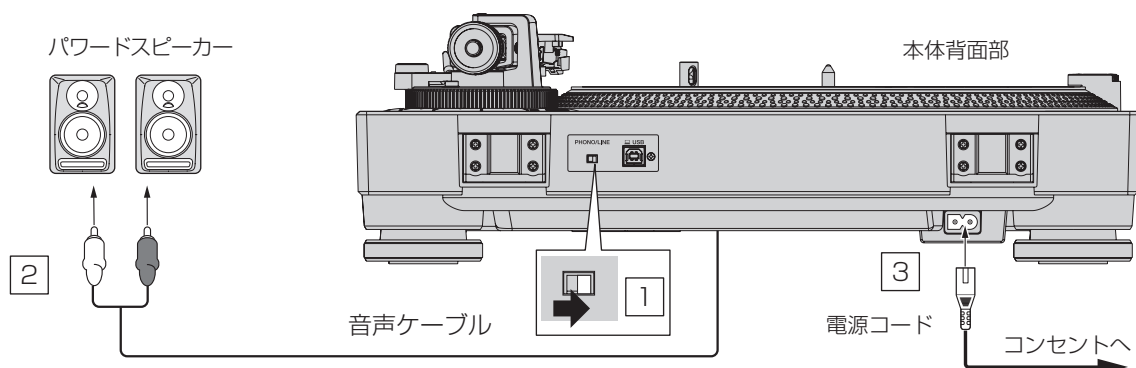
3 [HEIGHT ADJUST] ロックを回して、アームの高さを固定する

アームの高さ調整後は、必ず [HEIGHT ADJUST] ロックを回して固定してください。

接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

パワースピーカーに接続する



1 [PHONO/LINE] スイッチを [LINE] に設定する

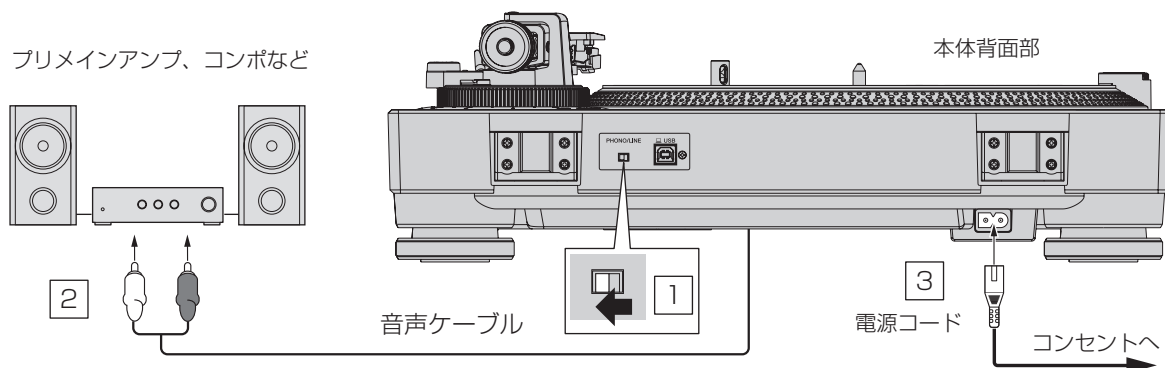
2 音声ケーブル、パワースピーカーなどの [LINE] 入力端子に接続する

- 必要に応じて、付属のオーディオ変換ケーブルをご使用ください。

3 電源コードを接続する

付属の電源コードを使ってコンセントと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

プリメインアンプ、コンポに接続する



1 [PHONO/LINE] スイッチを [PHONO] に設定する

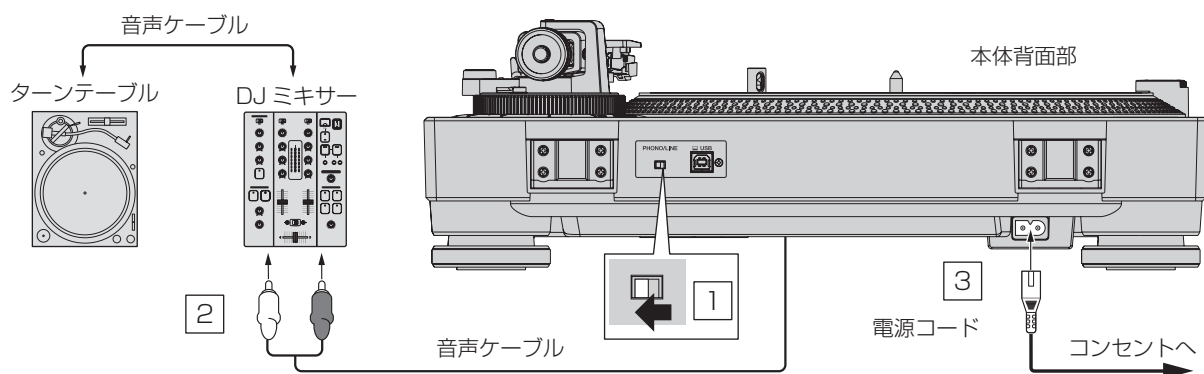
2 音声ケーブルをプリメインアンプ、コンポなどの [PHONO] 入力端子に接続する

- [PHONO] 入力端子のないプリメインアンプやコンポなどに接続すると、十分な音量・音質が得られません。その場合は、本機の [PHONO/LINE] スイッチを [LINE] に設定し、プリメインアンプやコンポなどの [LINE] 入力端子に接続して頂くか、PHONO イコライザーをお使いください。

3 電源コードを接続する

付属の電源コードを使ってコンセントと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

DJ ミキサーへ接続する



1 [PHONO/LINE] スイッチを [PHONO] に設定する

2 音声ケーブルを DJ ミキサーの [PHONO] 入力端子に接続する

- [PHONO] 入力端子のない DJ ミキサーに接続すると、十分な音量・音質が得られません。その場合は、本機の [PHONO/LINE] スイッチを [LINE] に設定して、DJ ミキサーの [LINE] 入力端子に接続してください。

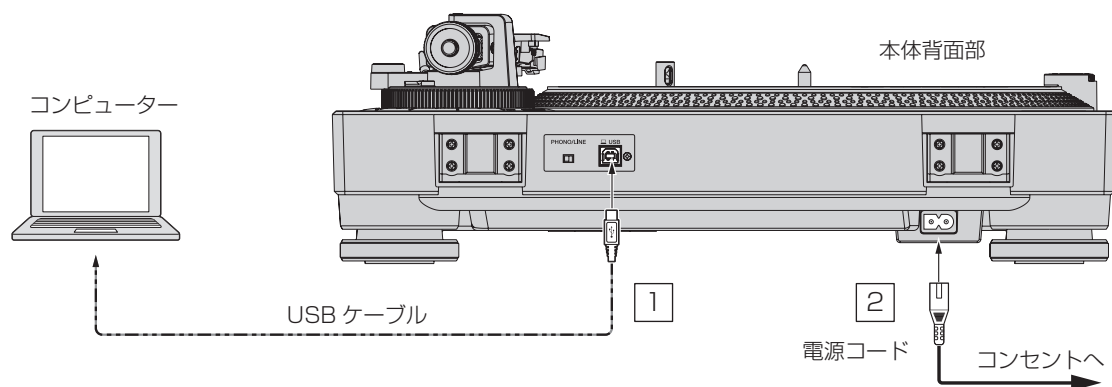
3 電源コードを接続する

付属の電源コードを使ってコンセントと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

コンピューターと接続する

本機は USB ドライバソフトウェアは必要ありません。

☛ 「録音する」(p.15)



1 USB ケーブルをコンピューターの USB 端子に接続する

2 電源コードを接続する

付属の電源コードを使ってコンセントと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

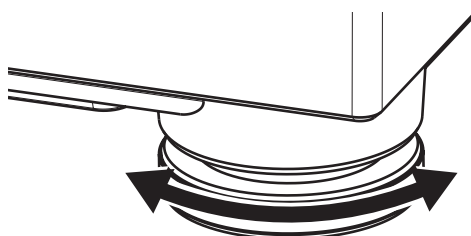
設置する場所

外部振動を受けない、水平な場所に置いてください。

- スピーカーシステムからは、できるだけ離して設置してください。
- ラジオ (FM/AM 放送) を極端に近づけると、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機とは離してください。

本体の高さを調整する

本体が水平になるように、インシュレーターを回して高さを調整してください。



操作する

電源の入れかた

- 1 各接続を行い、コンセントに電源コードを接続する
☞ 「接続する」(p.12)
- 2 [POWER] スイッチを [ON] 側に切り換えて、本機の電源をオンにする
本機のインジケーター類が点灯し、電源がオンになります。

電源の切りかた

[POWER] スイッチを [OFF] 側に切り換えて、本機の電源をオフにする
本機の電源がオフになります。

演奏する

以下の準備をしてください。

- レコード盤をターンテーブルにのせます。
- 針カバー、アームクランパーを外しておきます。

- 1 [POWER] スイッチを [ON] 側に切り換えて、本機の電源をオンにする
- 2 演奏するレコード盤に合わせて、回転数を選択してスピードチェンジボタンを押す
- 3 [START/STOP] ボタンを押す
ターンテーブルが回転します。
- 4 リフターレバーを上を起こし、トーンアームをレコード盤上に移動させる
- 5 リフターレバーを下に倒す
トーンアームが静かに下降し演奏が始まります。

演奏を一時中断する

リフターレバーを上を起こす

カートリッジの針先がレコード盤から離れます。

- 再度演奏するときは、リフターレバーを下に倒します。

演奏を終える

- 1 リフターレバーを上を起こし、トーンアームをアームレストに戻した後、リフターレバーを下に倒す
- 2 [START/STOP] ボタンを押す
ターンテーブルが、なめらかに停止します。
- 3 [POWER] スイッチを [OFF] 側に切り換えて、本機の電源をオフにする
トーンアームはアームクランパーで固定してください。
針先保護のため針カバーを付けてください。
ダストカバーを閉じてください。

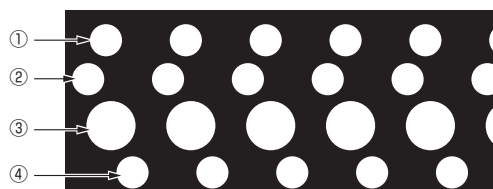
ピッチを調整する

[TEMPO] スライダーを前後に動かす

手前側に動かすと回転数が速くなり、奥側に動かすと回転数が遅くなります。

- [TEMPO] スライダーが中心部にあるときは、インジケーターが黄緑色に点灯し、規定の回転数 (33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm) が得られます。
- [TEMPO] スライダーの目盛はおおよその数値です。目安としてお使いください。
- ターンテーブルの円周に刻まれた4列のストロボ縞目を見ることで、規定の回転数を得られていることを確認できます。

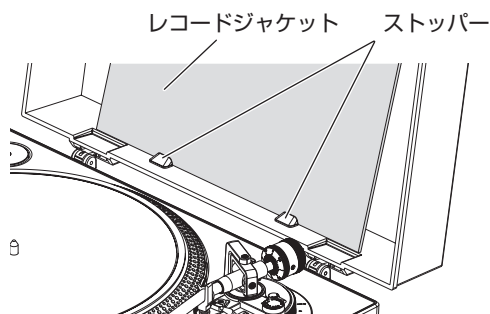
ストロボ縞目



- ① ストロボ縞目が停止して見えるとき 33 1/3 rpm (50 Hz 電源)
 - ② ストロボ縞目が停止して見えるとき 45 rpm (50 Hz 電源)
 - ③ ストロボ縞目が停止して見えるとき 33 1/3 rpm (60 Hz 電源)
 - ④ ストロボ縞目が停止して見えるとき 45 rpm (60 Hz 電源)
- 本機のストロボ縞目の照明には、ストロボイルミネーター (赤色 LED 照明) を使用しています。ピッチを確認するときは、必ずストロボイルミネーターの照明を使って確認してください。

レコードジャケットをディスプレイする

図のように、ダストカバーに取り付けられたストッパーにレコードジャケットを引っ掛けてください。



- レコードジャケット以外のものをのせないでください。
- レコードジャケットは確実にストッパーに引っ掛けてください。
- 演奏中に使用する場合は、レコードジャケットが倒れないよう十分ご注意ください。レコード盤や、針を傷める恐れがあります。
- レコードジャケットをのせたまま、ダストカバーを閉じないようご注意ください。

EP レコードのドーナツ盤を演奏する

EPレコード用アダプターをセンタースピンドルに取り付けて、[45] ボタンを押してください。

針先を明るく照らす

スタイラスイルミネータースイッチを押すと、スタイラスイルミネーターが白色に点灯し、針先を照らす位置まで上がります。

- 必要のないときは、スタイラスイルミネータースイッチを押して下げておきます。スタイラスイルミネーターは消灯します。
- 点灯中は照明を直視しないでください。

録音する

音楽管理ソフトウェア "rekordbox" をインストールしたコンピュータと接続することで、アナログレコードをデジタル録音することができます。

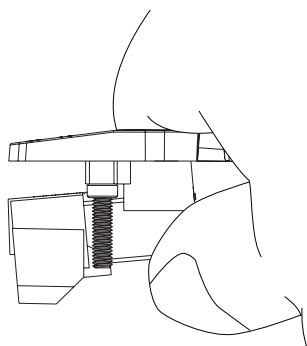
詳細については、下記 rekordbox 商品サイトにアクセスし、[Support] 内の rekordbox 操作説明書をご覧ください。

<https://rekordbox.com/ja/store/>

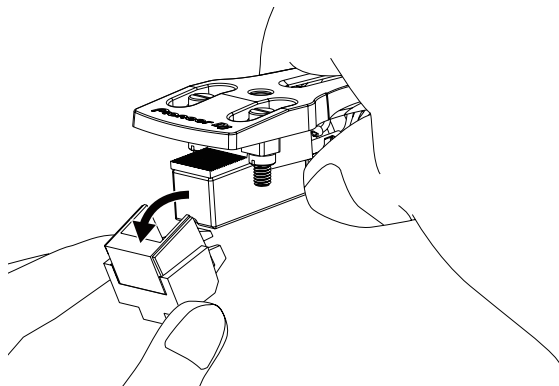
針を交換する

以下の操作の前に、電源が入っていないことを確認してください。

1 片方の手でカートリッジを持つ



2 もう片方の手で針ホルダー部を持ちながら、矢印の方向へ外す



カートリッジを変更する

本機は MC 型カートリッジには対応しておりません。VM 型カートリッジ、または MM 型カートリッジをお使いください。

カートリッジを取り外す

1 ヘッドシェルに取り付けられたネジ、ナット、ワッシャーを取り外す

2 カートリッジに接続されているリード線を外す

カートリッジを取り付ける

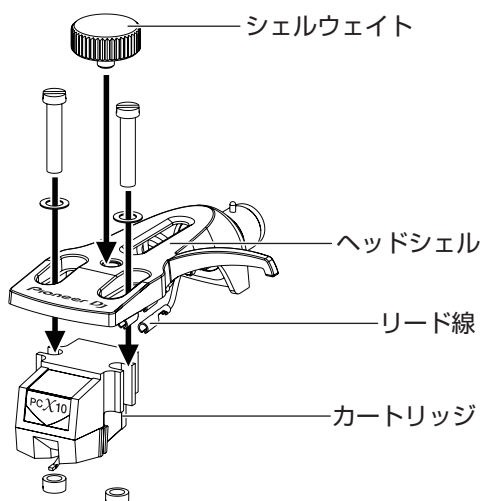
1 ヘッドシェルのリード線の色とカートリッジ端子の記号を合わせて接続する

ヘッドシェルのリード線の色とカートリッジ端子の記号は、下記の通りに合わせてください。

正面から見て、左上が L+ : 白、左下が L- : 青、右上が R+ : 赤、右下が R- : 緑です。

- リード線は、ピンセットなどを使用して確実に接続してください。

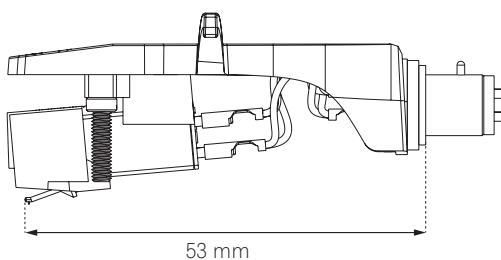
2 カートリッジに付属されているネジ、ナット、ワッシャーを使って、ヘッドシェルにカートリッジを取り付ける



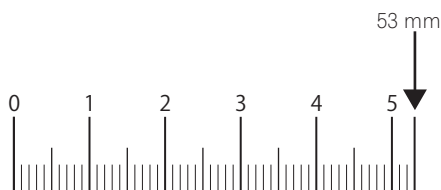
- カートリッジをヘッドシェルに取り付ける際は、正しく取り付けてください。
- 5g 以下のカートリッジを使用するときは、付属のシェルウェイトをお使いください。

オーバーハングを調整する

下記のオーバーハング調整用スケールを使用して、針先がトーンアーム取付部から 53 mm の位置に合うようにカートリッジ取り付けのねじで位置を調整してください。



オーバーハング調整用スケール



その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サポートサイトへアクセスして、[PLX-500] の [よくある質問] を確認してください。
pioneerdj.com/support/
また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、17 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか？	付属の電源コードをコンセントに正しく接続してください。
	電源の [POWER] スイッチは [ON] になっていますか？	電源の [POWER] スイッチを [ON] にしてください。
音が出ない、または音が小さい。	音声ケーブルが正しく接続されていますか？	音声ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	ヘッドシェルが正しく取り付けられていますか？	ヘッドシェルを正しく取り付けてください。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか？	音声ケーブル、ヘッドシェル部のリード線を正しく接続してください。
演奏中にブーンという低い音（ハム音またはバス音）が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や、その電源コードがありませんか？	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してください。
針先がレコード盤におりない。	針圧は正しく調整されていますか？	バランスウェイトを、お使いのカートリッジの適正針圧値に合わせてください。
	アームの水平バランスがとれていますか？	トーンアームが水平の状態になるまでバランスウェイトを回し、調整してください。
針とびを起こす。	針圧は正しく調整されていますか？	バランスウェイトを、お使いのカートリッジの適正針圧値に合わせてください。
	レコード盤がそったり、傷がついたりしていませんか？	レコードの状態を確認してください。
	針先にホコリが多量に付いていませんか？	カートリッジ付シェルを取り外し、柔らかい穂先のはけか毛筆でていねいに針先のホコリやゴミを取り除いてください。
	アンチスキューティングは正しく調整されていますか？	アンチスキューティングを正しく調整してください。
	アームの高さは正しく調整されていますか？	アームの高さを正しく調整してください。
アームが途中で止まって進まない。	レコード盤に傷がついていませんか？	レコードの状態を確認してください。
	アームが何かに当たっていませんか？	アームの周辺を確認してください。障害物などがあれば、取り除いてください。
音が小さい。または、大きい（歪む）。	カートリッジの種類（出力）に適したアンプの接続切り換えになっていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	[PHONO/LINE] スイッチの設定は正しいですか？	接続機器の入力端子に合わせ、[PHONO/LINE] スイッチを正しく設定してください。
回転しているターンテーブルのブレが大きい。	ターンテーブルとセンタースピンドルの取り付け部にゴミなどが付着していませんか？	ゴミを取り除いてください。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（裏表紙に記載）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書（レシート、納品書、受注メールなど）が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。

- ・ 本機を改造して使用した場合
- ・ 不正使用や使用上の誤りの場合
- ・ 他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

カートリッジの針は消耗部品のため、保証期間内でも保証対象外です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 16 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかをご確認ください。それでも正常に動作しないときは、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ・ ご住所
 - ・ お名前
 - ・ お電話番号
 - ・ 製品名：ターンテーブル
 - ・ 型番：PLX-500
 - ・ お買い上げ日
 - ・ 故障または異常の内容
- 「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

使用上のご注意

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れずに 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起ることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

遠くへ運搬するとき

購入時の包装材を使って包装してください。

購入時の包装材がない場合、以下のことは必ず行ってください。

- ・ スリップマットとターンテーブルを取り外してから、包装してください。
- ・ ヘッドシェルやバランスウェイトは、アームから取り外して、ていねいに包装してください。
- ・ トーンアームをアームクランパーで固定して、テープで結んで動かないようにしてください。
- ・ 本体は、毛布や柔らかい紙などで、傷がつかないように包装してください。
- ・ トーンアームに力が加わらないように梱包してください。

各部のお手入れ

ヘッドシェルを着脱するときはアンプの電源を切ってください。

ボリュームを上げたまま行くとスピーカーを破損することがあります。

- ・ カートリッジ付シェルを取り外し、柔らかい穂先のはけか毛筆でていねいに針先のホコリやゴミを取り除いてください。
- ・ レコード盤は良質のレコードクリーナーでよく拭いてください。
- ・ 柔らかい布などでヘッドシェル端子を拭いて、トーンアームに取り付けてください。

ダストカバーなどのお手入れ

ダストカバーとキャビネットは、柔らかい布で拭いてください。

- ・ 通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- ・ 演奏中は、ダストカバーを拭かないでください。静電気が発生し、トーンアームがダストカバーに引き寄せられることがあります。

商標および登録商標について

- ・ 「Pioneer DJ」は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ rekordbox™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

仕様

電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	8 W
本体質量	10.7 kg
外形寸法	450 mm (幅) × 158.5 mm (高さ) × 367.5 mm (奥行)
許容動作温度	+ 5 °C ~ + 35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)

ターンテーブル部

駆動方式	サーボ式ダイレクトドライブ
モーター	3 相ブラシレス DC モーター
ブレーキシステム	電子ブレーキ
回転数	33 1/3 rpm、45 rpm、78 rpm
回転数調整範囲	± 8 %
ワウ・フラッター	0.15 % 以下 WRMS
S/N 比	50 dB 以上
ターンテーブル	アルミダイカスト 直径 : 332 mm
起動トルク	1.6 kg · cm 以上
起動時間	1 秒以下 (33 1/3 rpm 時)

トーンアーム部

アーム形式	ユニバーサルタイプ S 字型トーンアーム、 ジノバルサポート型軸受構造、スタティックバランス型
有効長	230.5 mm
オーバーハング	16 mm
トラッキングエラー	3 ° 以内
アーム高さ調整範囲	6 mm
針圧可変範囲	0 g から 4.0 g (1 目盛 0.1 g)
適正カートリッジ質量	9.5 g 以下 (カートリッジ単体)
カートリッジ形式	VM 型

出力電圧

PHONO	2.5 mV/1 kHz
LINE	150 mV/1 kHz

— 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ご相談窓口（製品取扱い・修理・部品のご購入）

【固定電話から】

0120－545－676 （無料）

【携帯電話・IP電話から】

050－2018－6565 （有料）

注：番号をよくお確かめの上で、おかけいただきますようお願いいたします。

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・一部のIP電話などからはご利用になれません。

「050」で始まる電話番号は、携帯電話・IP電話などからご利用可能ですが通話料がかかります。

【受付時間について】

相談窓口の受付時間は以下のホームページにてご確認をお願いいたします。

右のQRコードからもアクセスできます。

<https://www.pioneerdj.com/ja-jp/support/contact/japan/>



【受付内容について】

商品に関するお問い合わせ：

商品の機能や取り扱い、故障かどうかのご相談

修理のご依頼：

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は

①型名②ご購入日③故障症状を具体的にご連絡ください。

部品ご購入：

付属品、及びお客様がご自身で交換可能な部品をご購入いただけます。

商品相談・修理受付・付属品購入窓口のご案内
～お取り扱いにお困りのとき、前項をご覧ください。

音響映像機器保証書

This warranty is valid only in Japan.

引取・持込修理

機種	製造番号	
PLX-500		
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
	電話番号 ()	
	お買い上げ日 取扱販売店名・住所・電話番号	
年 月 日		
保証期間(お買い上げ日より)		
本体 1年		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
本機は、宅配便による引取修理を行っております。

- お客様へお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

- ご販売店様へ
お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書をお客様へお渡しください。

AlphaTheta株式会社

〒220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番5号
横浜アイマークプレイス6階

お問合せ先：カスタマーサポートセンター

0120-545-676

〈 無料修理規定 〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または弊社が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。その際には本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口（取扱説明書をご参照）へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障および損傷
 - 消耗品（各部ゴム、電池、ピックアップ、スピンドルモーター、スライダーモーター等）の交換
 - 本書の提示がない場合
 - お買い上げの年月日、販売店が確認できない場合
 - 本書のお買い上げの年月日、お客様名、販売店名を書き換えた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
 - 劣悪な設置条件（油煙、熱、塵、水、直射日光等）にて使用し故障した場合

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- その他
 - 故障その他による営業上の機会損失（逸失利益）は補償いたしませんのでご了承ください。
 - 特殊なセッティング（配線の引回し、棚の設置等）、「取付業者指定商品」の取付け取外しは専門の工事店にご依頼ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

© 2016 AlphaTheta株式会社 禁無断転載

AlphaTheta Corporation

6F, Yokohama i-Mark Place, 4-4-5 Minatomirai, Nishi-ku, Yokohama, Kanagawa 220-0012 JAPAN

AlphaTheta株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番5号 横浜アイマークプレイス6階

Корпорация АльфаТета

6F, Йокогама i-Mark Place, 4-4-5 Минатомирай, Ниси-ку, Йокогама, Канагава 220-0012 ЯПОНИЯ

AlphaTheta EMEA Limited

Artemis Building, Odyssey Business Park, West End Road, South Ruislip, Middlesex, HA4 6QE, U.K. TEL: +44-203-7617-220

AlphaTheta Music Americas, Inc.

2050 W. 190th Street, Suite 109, Torrance, CA 90504, U.S.A. TEL: +1 (424) 488-0480